

～第2回～

# 「自分の仕事」を 考える3日間

Forum  
フォーラム

2010年1/9(土)～11(月祝)

「仕事」や「働き方」をテーマに

全8名のゲストを招いてお話をうかがい

集まった参加者同士も話し合える

フォーラム形式のトークセッションをひらきます

●ファシリテーター(聞き手)



リビングワールド代表/働き方研究者

西村 佳哲

●ゲスト(話し手)

1/9 土

9:30～12:00



ミシマ社代表/出版人

三島 邦弘

13:30～16:00



Open A 代表/建築家

馬場 正尊

16:30～19:00



ネバリ・バザール代表/事業家

土屋 春代

1/10 日

9:30～12:00



浦河べてるの家理事/ソーシャル・ワーカー

向谷地 生良

13:30～16:00



CAFE MILLET オーナー

隅岡 樹里

16:30～19:00



編集集団140B 総監督/編集者

江 弘毅

1/11 月祝

9:30～12:00



マザーアース・エデュケーション代表

松木 正

13:30～16:00



くずし割烹 枝魯枝魯店主/料理人

枝國 栄一

同時開催

ならジョブカフェ「シゴト応援フェア」

2階エントランスホール

事前申込み不要・無料

1/9 国

12:00～18:00

パソコンによる職業興味診断や、キャリアコンサル  
タントによる、しごと相談を行います。これから社  
会に出る若者はもちろん、在職中の方や、ご家族  
の相談も受け付けます。



○プレイベント

1/8 前日 金

18:00～19:30

限界集落日本一周

「ムラアカリの旅・報告会」



昨年のフォーラム参加者

友廣 裕一

聞き手: 西村 佳哲

【会場】 奈良県立図書情報館 1階交流ホール

【定員】 各日150名(先着順)

【参加費】 3日間通し券 2,000円(先着50名)  
1日券 1,000円(各日毎 先着100名)

※宿泊プランあり ホテル日航奈良 [www.nikkonara.jp](http://www.nikkonara.jp)

お申込みは、メール・FAX・往復ハガキで

申込み専用アドレス [wsts@library.pref.nara.jp](mailto:wsts@library.pref.nara.jp)

FAX 0742-34-2777

往復ハガキ 〒630-8135 奈良市大安寺西1-1000

奈良県立図書情報館

「自分の仕事」を考える3日間 担当

①郵便番号・住所/②お名前(ふりがな)/③年代/④電話・FAX/  
⑤通し券・1日券の別/⑥希望参加日



奈良県立図書情報館

●主催: 奈良県立図書情報館 ならジョブカフェ(ヤングコーナー)/奈良県 奈良県経営者協会

●協力: 独立行政法人 雇用・能力開発機構奈良センター

奈良県立図書情報館 〒630-8135 奈良市大安寺西1-1000 TEL0742-34-2111(代表) FAX0742-34-2777 [www.library.pref.nara.jp](http://www.library.pref.nara.jp)

# Profile

## ●ファシリテーター(聞き手)



**西村 佳哲** | 1964年 東京生まれ  
リビングワールド代表/働き方研究者  
にしむら よしあき

武蔵野美術大学卒業。建設会社・設計部勤務を経て、「センソリウム」などのウェブプロジェクトを手がけた後、2001年にリビングワールドを設立。内田洋行「プロジェクト・テーブル」や、地球の時間を示す時計「アースクロック」、徳島の地域サイト「イン神山」など、コミュニケーション・デザイン分野のプロジェクトを手がける。多摩美術大学非常勤講師。著書に『自分の仕事をつくる』(晶文社)、『自分をいかして生きる』(バジリコ出版)など。

## ●ゲスト(話し手)



**三島 邦弘** | 1975年 京都生まれ  
ミシマ社代表/出版人  
みしま くにひろ

大学卒業後、PHP研究所に入社。単行本の編集者になる。糸井重里「インターネット」などを担当した後、2003年退社。東欧などへ数ヶ月間の旅へ。同年NTT出版で編集活動を再開。2006年10月、株式会社ミシマ社を単身設立。「原点回帰」の出版社を標榜し、編集・営業・仕掛け屋など、チームの枠を超えて活動。同社の出版物には、「文章は写経のように書くのがいい」「街場の教育論」「謎の会社、世界を変える。」など、版を重ねるヒット作が多い。



**馬場 正尊** | 1968年 佐賀生まれ  
Open A 代表/建築家  
ばば まさたか

早稲田大学で建築を学んだ後、博報堂に入社。都市博などの計画立案に関わり、博士課程へ復学。同時期、雑誌「A」を創刊。ビルや都市を再生する「Rプロジェクト」に仲間たちと着手。2002年に設計事務所「オープン・エー」設立。日本橋や神田の空きビルを活用するCET(Central East Tokyo)のディレクターも務める。2004年「東京R不動産」を開始。東北芸術工科大学准教授(2008〜)。著書に『「新しい郊外」の家』(太田出版)、『未来の住宅』(バジリコ出版)など。



**土屋 春代** | 1952年 神奈川生まれ  
フェアトレード団体 ネパール・バザー代表/事業家  
つちや はるよ

中学生の頃、ネパールに関わった医師・岩村昇さんの話に強い印象をおぼえる。30代半ば、生き方に迷いながら働いていたが、30代後半「ネパールに学校をつくる会」を開始。休暇にネパールへ通い、40才で退職。翌月「ネパール・バザー」を設立。「一時的な援助より継続的な仕事を」という声に応える、対等な立場での貿易＝フェアトレードを始める。ネパールの人々とのモノづくり(衣服や紅茶など)と国内の流通開発を重ね、顧客数は全国に約5,000人、小売店も約600店に。



**向谷地 生良** | 1955年 青森生まれ  
浦河べてるの家理事/ソーシャル・ワーカー  
むかいやち いくよし

大学卒業後、北海道・浦河日赤病院に精神科のワーカーとして着任。併行して精神障害を持つメンバーと共同生活を始める。1982年、同病院の精神科医・川村敏明と出会い、以後協働的に活動。1984年、精神障害を経験した当事者たちによる活動拠点「べてるの家」を皆と設立。SST(生活技能訓練)を取り入れた他、本人を主体とする新しい自助の手法「当事者研究」を開拓する。北海道医療大学で教鞭(2003〜)。著書に「べてるの家の「非」援助論」(医学書院)など、多数。



**隅岡 樹里** | 1978年 京都生まれ  
CAFE MILLET オーナー  
すみおか じゅり

芸術家の父親のもとで育つ。大学卒業後、ギャラリカフェ「PRINTZ」のキッチンを担当。同時期よりイベントなどへのケータリングを開始。2004年より大阪「common cafe」で週2回・日替わりマスターを担当。また、静原の自宅を開放した予約制の自然食カフェ「CAFE MILLET」を開く。2009年に結婚し、旧姓鈴鹿から隅岡に。パートナーの敦史さんと、育った静原を舞台に子どもたちが自由に遊ぶ、美味しい野菜と、自然を感じられる場づくりも進めている。



**江 弘毅** | 1958年 大阪生まれ  
編集集団140B総監督/編集者  
え ひろき

岸和田市に生まれ、だんじり祭で育つ。神戸大学卒。1989年、京阪神エルマガジン社で「ミーツ・リージョナル」を創刊。93年から13年間編集長を務め、全国的に知られる地域情報誌に育てる。内田樹、永江朗、鷲田清一などの編集も担当。「街的」「街場」といった言葉も生む。2006年に退社し、仲間と編集集団140Bを設立。著書に「街場の大阪論」(バジリコ)、『だんじり若頭日記』(晶文社)、『「街的」ということ』(講談社現代新書)など。



**松木 正** | 1962年 京都生まれ  
マザーアース・エデュケーション代表  
まつき ただし

キャンプカウンセラーやYMCA職員を経て1989年に渡米。ラコタ族の居留地区に入り、自然観・生き方・伝統儀式などを学ぶ。帰国後、彼らの儀式を導入した環境教育を開始。現在はキャンプの企画や指導、企業研修、公立高校のクラスにおける関係性育成など、環境教育を軸に幅広い活動を展開。学校や子ども、親たちに対する継続的な関わりを重ねている。ラコタ族の儀式・伝統の継承を許された数少ない日本人の一人。著書に『自分を信じて生きる』(小学館)。



**枝國 栄一** | 1973年 京都生まれ  
ぐずし割烹 枝國枝國店主/料理人  
えだくに えいいち

高校卒業後、アルバイト先で2人の板前と出会い、料理に感激。押しかけの弟子に。23才で店を離れ、先斗町の京料理店の店長に。26才で独立し、四条・川端町にカウンター全12席の店「ぐずし割烹 枝國枝國」をオープン(2000)。2008年、京都の店を「枝國枝國HITOSHINA」に絞り、家族とフランスへ移住。目標として掲げていたバリ店をオープンさせる。現在はハワイでの開業を目指して活動中。著書に「ぐずし割烹—調味醤油で素材を活かす」(柴田書店)など。

## ○プレイベント

限界集落日本一周・報告会  
**ムラアカリの旅** 1/8(金)1階 交流ホール  
当日券 500円(申込不要)  
※フォーラムチケットで入場無料

昨年のフォーラム参加者・友廣裕一さん(25才)。会場で日本一周のアイデアを熱く語っていた彼は、翌2月にヒッチハイクで東京から出発。北海道から沖縄まで半年間で約70カ所の民家に身を寄せ、さまざまな仕事を手伝い、数百名の人々と対話を重ねてきた。東京のような都会こそ限界集落? 前夜のプレイベントとして、その旅の報告会を開きます。  
聞き手: 西村佳哲

## 同時開催

第2回「自分の仕事」を考える3日間 1/5(火)~1/11(月)  
**プレ企画展開催** 2階 エントランスホール

フォーラムに先立って、ゲストの仕事や考えを紹介するパネル展示。

「仕事・働き方」を 1/5(火)~1/31(日)  
**考える200冊** (図書展示) 2階 セミナールーム前

ゲストの著書をはじめ、仕事や働き方に関する所蔵図書等の展示。

奈良でゆっくり考える  
**ホテル日航奈良 宿泊プラン**

2010年1月7日(木)~11日(月・祝)  
2名1室利用 お一人様 9,000円  
1名1室利用 お一人様 10,000円

※1泊朝食付き・連泊の場合割引あり。  
※上記ご宿泊プラン料金は税金・サービス料込みです。  
※マイレージポイントの対象外とさせていただきます。

【お問い合わせ】  
URL [www.nikkonara.jp](http://www.nikkonara.jp)  
TEL 0742-35-8831(宿泊予約)  
E-mail [info@nikkonara.jp](mailto:info@nikkonara.jp)

特典

奈良県立図書館イベント  
「自分の仕事」を考える3日間  
**3日間通し券付き**  
(2,000円相当)

### 申込み方法

以下のいずれかの方法で必要情報をお送りください。

- ホームページ [www.library.pref.nara.jp](http://www.library.pref.nara.jp)
- メール [wsts@library.pref.nara.jp](mailto:wsts@library.pref.nara.jp)
- FAX 0742-34-2777
- 往復ハガキ 〒630-8135 奈良市大安寺西1-1000 奈良県立図書館「自分の仕事」を考える3日間 担当

往復ハガキの場合は復信に返信先の住所番号・住所・氏名をご記入ください。当館からお送りする「参加受付ご案内(ハガキ)」を当日お持ちいただき、参加料と引き換えてチケットをお渡しいたします。  
※個人情報責任をもって管理し、無断使用や第三者に提供することはありません。

▼必要情報

- ①郵便番号・住所
- ②お名前(ふりがな)
- ③年代
- ④電話・FAX
- ⑤通し券・1日券の別
- ⑥希望参加日

- ### 【交通アクセス】
- 近鉄奈良駅より** 奈良交通バス停(8番のりば)から「県立図書館行き(22系統)」に乗車し、終点。所要時間約20分。
  - JR奈良駅より** 奈良交通バス停(10番のりば)から「県立図書館行き(22系統)」に乗車し、終点。所要時間約15分。
  - 近鉄新大宮駅より** 駅南口バス停から「四条大路南町行き(8系統)」に乗車し、県立図書館西口下車。徒歩5分。所要時間約15分。

### 【自家用車利用】

国道24号線の柏木町交差点を東に折れ、1つ目の信号を左折。約700メートル先の左手側。

○駐車スペース  
普通車 | 1時間毎 ※1時間まで 311台 | 100円 無料

○所要時間

京都	約65分
大阪・梅田	約60分
天王寺	約50分
なんば	約50分
三宮	約100分

〒630-8135 奈良市大安寺西1-1000  
TEL 0742-34-2111(代表) FAX 0742-34-2777 [www.library.pref.nara.jp](http://www.library.pref.nara.jp)

